

http://www.minamih.net/



11・5・14(土)  
南NEWS NO10

## 母の日のプレゼント

5月8日は、少女のカップ戦決勝戦と4年生の12ブロック予選の1次リーグがありました。

少女は、東京都準優勝の南大沢を相手に一步も引かず1-1の引き分け、PK戦で敗れましたが、技・戦術・気力で上回り、互角以上の戦いを魅せてくれました。練習の成果が見事にでていました。

4年生は3試合全員が半分ずつ出場し、2勝1敗でした。2次リーグには進めませんでした。これも練習の成果を十分に魅せてくれました。個人技を駆使する楽しいサッカー、技術の高さ・スピード・気力、これからを大いに期待させてくれます。

少女も4年生もお母さんに何よりのプレゼントができましたね。  
b y 南のアンパンマン



## 第35回 春季カップ戦 (少女)

<グループAリーグ>

(5/1 文化大G)

南八王子 対 なかの 1-1 (前半1-0) 2 PK 0

得点者 片寄優さん

予想した通り苦しい試合となりましたが、なんとか勝つことができよかったです。

苦しくなってしまった原因は、気持ちの問題と運のなさ。「なかの」と聞くと萎縮してしまうのか、一昨日の関東ガールズ8の予選で見せてくれた思い切りの良いプレイがなくなっていました。慎重になりすぎるためなのか、視野が狭く先を読むプレイがなく、止めてはいけないところにボールコントロールしてしまうなど、らしくないプレイが目立ちました。たかが一瞬と思うかもしれませんが、その一瞬が遅れることで次のアクションが全く違ってしてしまうこともあるのです。もっともっと視野を広くし、次のプレイ、そしてまたその次のプレイを相手より早く予測できるようになって欲しいと思います。

運のなさの方はどうしようもありませんね。ジャストミートしないキーパー正面のシュートや枠を少し外れるシュートがたくさんありましたが、極めつけはクロスバーが2回連続で防いだシュート(ロナウジーニョのCMを思い出しました・・・)。神様が今日は勝たせてくれないのかな?と思いたくなる場面でしたが、PK戦ではあっさりと・・・。まだ見放されてはいないようです。次の2試合をきっちり勝って、5/8につなげたいと思います。

b y 飛田コーチ

(5/4 緑が丘小)

南八王子 対 樺 7-0 (前半3-0)

得点者 漆間花さん(3)、気仙さん(2)、片寄優さん(2)

第1試合で、選手のモチベーションはどうなのか?昨日の関東ガールズエイトの予選リーグの試合の疲れはないか?試合が始まるまではチームのコンディション状態が不安でした。そんな不安を一蹴したのが前半開始17秒での片寄優さんの得点でした。キックオフから漆間花さんがドリブルで相手陣内へ持ち込み、片寄優さんへスルーパス。これを片寄優さんが冷静にゴールすみへ決めて試合の流れを南八SCペースにしました。

前半13分コーナーキックのチャンスに気仙さんがヘッドで押し込み追加点を奪いました。気仙さんは前半17分にも相手クリアボールをカットするとそのままド

リブルで2人のデフェンダーをかわしてシュート、3点目を奪いました。

後半も開始2分に漆間花さんが右サイドをドリブルで持ち込み、ゴール前へクロスを上げると逆サイドを詰めていた片寄優さんがヘッドで押し込み4点目をゴール。今度は片寄優さんの左からのクロスに漆間花さんが詰めて5点目をゴール。その後立て続けに漆間花さんは相手ボールをカットするとドリブルで持ち込みデフェンスをかわしてのシュートで2得点しました。

選手達は昨日の遠征(世田谷区)の疲れもなく、運動量もスピードも落ちることなく40分フルにボールを追いかけました。左サイドバックの伊藤さんはドリブルで持ち込んでくる相手に飛び込まず、粘り強い(ボールを自由に蹴らせない)デフェンスをしていました。また右サイドバックの橋本さんは果敢なプレスで相手にプレッシャーをかけ、チャンスとみると積極的に前へ攻撃参加していました。運動量の多い滝本さん、左のハーフとして攻撃から守備と大忙しです。そしてサイドバックもこなす器用さはチームでは貴重は存在です。攻撃はボールをワンタッチ・ワンツーで繋ごうとする動き、意思がピッチの外から見ても感じます。失敗を恐れずもっとワンタッチ・ワンツーにチャレンジしましょう。ヘディングで合わせようとする意識(勇気?)が出てきました。結果も出ています。ただ中にはまだ後ろへヘディングしてしまう子がいます。もっと練習して前へはじき返せるようになりましょう。(あごを引いておでこにボールをあてよう。)

b y 齊藤コーチ

南八王子 対 南大沢D 4-0 (前半2-0)

得点者 片寄優さん(3)、気仙さん

前半試合開始のキックオフ(南)からの動きが1試合目とまったく変わってしまい、別のチームではないかと思わせるほどの動きの悪さが目立ちました。敵がボールを持っているのに寄らない、味方からのパスを足元でもらおうとするなど相手のペースに合わせた動きが前半はかなり目立ちました。しかし、前半14分、気仙さんからのロングスローが敵のDFの頭上を超え、片寄優さんのところうまく飛んで行き、何とか先制することができました。そして2分後、漆間花さんからのスルーパスを片寄優さんが決め、前半は2点止まりでした。前半は間延びしなければもっと点を決められたと思います。

後半は前半より多少試合開始早々の動きは改善されましたが、まだまだ敵に合わせているシーンが数多く見受けられました。後半1分、漆間花さんが右サイドをドリブルで駆け上がりゴールラインギリギリのところであげたクロスが片寄優さんの頭にジャストミートで3点目を獲得。私個人的には南八王子らしい点の決め方だったと思います。その9分後、今度はコーナーキックから最近セットプレーでかなり波に乗ってきている気仙さんが頭で合わせて4点目が決まりました。そのほか個人では、DFの橋本さん、伊藤さん、小沢さんがやや危なげながらもしっかり守ってくれ、滝本さんも攻守ともによく走りがんばってくれました。そして、GKの安井さんも危ないピンチを何度か救ってくれ活躍してくれました。

反省としてはやはりこれは永遠の課題ともいえる浮き玉の処理です。特にDFラインとボランチが浮き玉を後ろにそらしてしまうシーンが何度か見られ結果的にピンチになっていました。後は、ファーストタッチです。せっかくいい位置でパスを受けても行きたい場所にボールコントロールできずにタッチラインから出たり、敵に取られるシーンも見られました。ですが、失点をしなかったということが一番だったと思います。あとは先制点を早く取り試合ペースを南八王子ペースにできれば決勝でも優勝を狙えると思います。

b y 長岐コーチ

